

寺報

龍正寺

日なた 142号

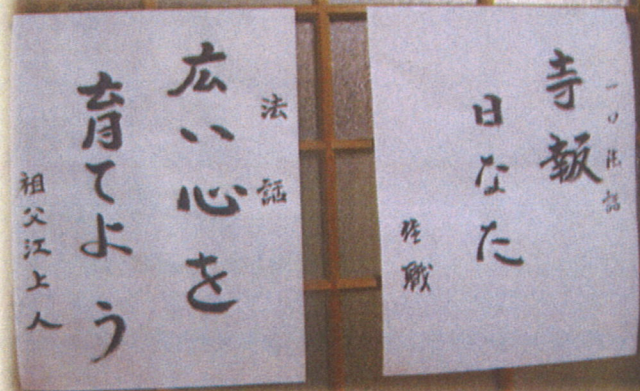
彼岸

日
延


<令和 2年 3月>

宝龍会
護持会

令和二年節分星祭



鬼は外、福は内
大きな声で福まき



お上人・祖父江上人による
豆まきです



厄年の方達の豆まき
お餅配りです



祖父江上人から法話を聞きました

妙泉寺再行帰山報告式

令和二年二月十五日(土)



妙泉寺祖父江上人の帰山式に参加させていただきました。

寒一百日の大荒行成満され、水行の迫力、行の大変さを感じ取ることができました。

御祈禱を受けることができ、不思議な力を頂けたような気がしました。

往職一言 =御遺文より=

彼岸の月になり、春のおとずれです。

今 新型コロナの感染拡大してます、皆々様健康に充分気を付けて下さい。

宗祖日蓮大聖人御遺文『中興入道御消息文』

「丈六の卒塔婆を立てて其面に南無妙法蓮華經の七字を續はしておぼしませば、北風吹けば、南海の魚族其風に當りて大海の苦を離れ、東風吹けば、西山の鳥鹿其風を身にふれて畜生道を脱れて、都卒の内院に生れん。況や彼の卒塔婆に隨喜をなし、手をふれ、眼に見まいらせ候、人類をや、過去の父母彼の卒塔婆の功徳によりて天の日月の如く、浄土をこそし、孝養の人並に妻子は現世には壽を百二十年持ちて、後生には父母とともに靈山浄土にまゝり結ばん事、水澄めば月うつり、鼓を打てば、ムヒキのあるがごとくおぼしめし候へ」

一丈六尺の大卒塔婆を造り、その表面に南無妙法蓮華經の七字を書いて建立したが、この卒塔婆に北の風が吹けば、南の海の魚類がその妙法七字の風に吹かれて大海の苦惱から離脱し、東風が吹く時は、西の山に栖む鳥や鹿が、その風を身に觸れることによりて畜生道を脱れて、都卒

天の内院、即ち天上界に生れることができるのである、ましてその卒塔婆
を直接に見て喜んで手に觸れ、眼に見る人達は計り知れない、功徳を得
ることができるのである、即ち亡き御両親の靈も彼の卒塔婆を建てられた
徳によって、天の日や月のように浄土を照すことができる、またこの追善を
なして孝養をつくす人や妻子は現世には百二十年の長寿を保ち、後生には
追善の功徳によって隨獄の亡父を救い、疑いなく父母と一緒に靈山
浄土に住居することが出来るのである、例へば「水が澄めば」月影が映り、鼓を
打つと響のあるように起塔追善の功徳は現世は安穩に、後生は善處に到
らしめるものであるということを確認なさるがよい。

弘安2年11月30日に宗祖日蓮大聖人がお説きになられておられます。

私たちも塔婆を建て、御先祖様の供養をいたしましょう。

当山において、来る3月20日春季彼岸中日に塔婆供養法要をいた
します、御参拝をお待ちします。

南無妙法蓮華經

合掌

♡ 愛犬 クラちゃん ありがとう ♡

2月15日の朝のお経中の時でした。主人の当病平癒の祈願中にふと、この頃後遺症もあり、体の疲れも気になると頭の中もよぎりました。

すると、「クラちゃんがいづか大丈夫だよ。」と何か聞こえました。同時に、横たわっているクラの姿がうかびました。思わず、あ、！ 何と！ 邪心がはいっていると思い、改めて力を込めて主人の当病平癒のお経をあげました。

この日は、妙泉寺さんでの帰山式に主人の祈願をしてもらう予定をしていました。急いで準備をしながらも、朝の事も気になりクラの小屋を見ると、お経中に浮かんだ同じ状態で横たわっていました。もう…かすかな息しかなく…。かく然としました。主人に連絡すると昨夜の散歩の時は、はしゃいでとても元気だったと、”自然に逝かせてやろうな。もう老たたかな。”と主人に言われました。クラは一番主人になっっていました。大分しく自然に、人間の身勝手な思いで旅立ちの邪魔はしたくないと思いました。

クラは、雑種でしたが主人の知人から産まれるのを待ちぬ

びて、もらったかでした。

はじめての出会いはお寺でした。御会式の準備の為
お寺いたところへ、主人が自宅は誰もいなければ心配と
連れて来ました。片手に乗るほど小さな子でした。

御上人さんにも、'何か仏縁のある子だね、と言われかわ
いがって頂きました。

そして、2月15日、釋尊涅槃会の日、永遠の別れをしました。

御上人様も自宅へ来て下さり、お経を唱えて下さいました。

すると、息子の嫁、子供達の外出から帰って来て、クウがなくな
った事を知り、一緒にお経をあげてお別れをしてくれました。

孫達にとって"生きるものはいつかは死ぬ"、死というものを感じ
る機会にもなりました。

また、この日は娘の家族が泊まりに来る事になっていた日
でもありました。

明朝、早朝出勤の私は、クウと最後のお別れをしました。

主人が火葬場へ行く時、息子、娘、家族がこの自宅からの
見送りをしてくれたのです。また、全員が会う事がないのに
まるでクウがみんなを呼んでくれたのでしょうか。

そして、もうひとつ 不思議な事がありました。

それは、仕事の合間にお寺にお参りに行った時です。

駐車場で主人とほろ合わせ“今クウを送って来たよ。

無事見送りをした事を御上人さんにあいさつ来たところだよ、

この事でした。驚きでした。まさか主人と会うとは…。

ほんの15分ほどの合間に、御題目だけでも唱えた…と思

いお参りに来たのです。

御上人様に、「クウちゃん最後まで感謝していたよ。」

「あなた達が偶然に参拝された事こそ、あの子の気持ちだよ。」と言われました。

クウちゃん ありがとう。クウと出会えて、楽しい時を過ごす事が出来ました。不思議です。涙が出ませんでした。たくさん感謝と喜びの気持ちを頂きました。釋尊涅槃会にたくなり、日蓮様降誕会に次の世へ旅立つ事が出来たクウは本当に幸せだと思えます。

今も、あの子の可愛い姿が目にかぶると幸せな気持ちになります。' ありがとう.. 南無妙法蓮華経.. .

自分自身の周りに来る人は

自分自身の鏡なり

18日 鬼子母尊神・七面大明神祈禱会の例祭日、
早めにお寺に来たので、日なたの案を書いていました。

前日 起こった出来事や、職場の新人の事など
思い出しメモに書いていました。

新人は教えられた事は出来るのですが、応用が
きかず、融通が利かない、少しでも仕事の流れが
逸脱するとパニックになる。

マイペースであり、周りの状況がどうであろうと、おが
まいなし、上司も頭を悩ましていました。

スタッフも新人と仕事をすると疲れきるという状況でした。

文章にまとめた後、本堂に見占り出されている お上人
の法話の題名を見てびっくり 『自分自身の周りに来る人は
自分自身の鏡なり』

私が気がつくべき事なのだと、はっとさせられたに時
でした。これって、メモに書いた文章の事は 昔の私だ〜。

そう思うと相手は自分の鏡だということ !!

自分に必ず何かを伝える写し鏡であることに気がつき
ました。前の私だったら、新人に対して何でわからないのと
イラッとしていたことが、今は立ち止まり、振り返ることが
増えました。

よくお上人より「形だけ覚えても意味がない」「その時々で
状況が変わる」「物事はすべて親くっついてはがっている」と言われ
ていました。

私も新人も共通していることは物事のすべき事に対して
点で考えてしまう所、前後の意味を理解せず(出来ず)
形や型にこだわるかゆえに、何かトラブルがあると思考
が固ってしまう事です。

今後は、「自分自身の周りに来る人は、自分自身の
鏡なり」を意識し、日々精進していきたいと思っ
ます。

令和元年11月17日身延山久遠
寺護法団参について檀信徒の皆様
方からアンケートを頂きました。ここに、
ご報告申し上げます。

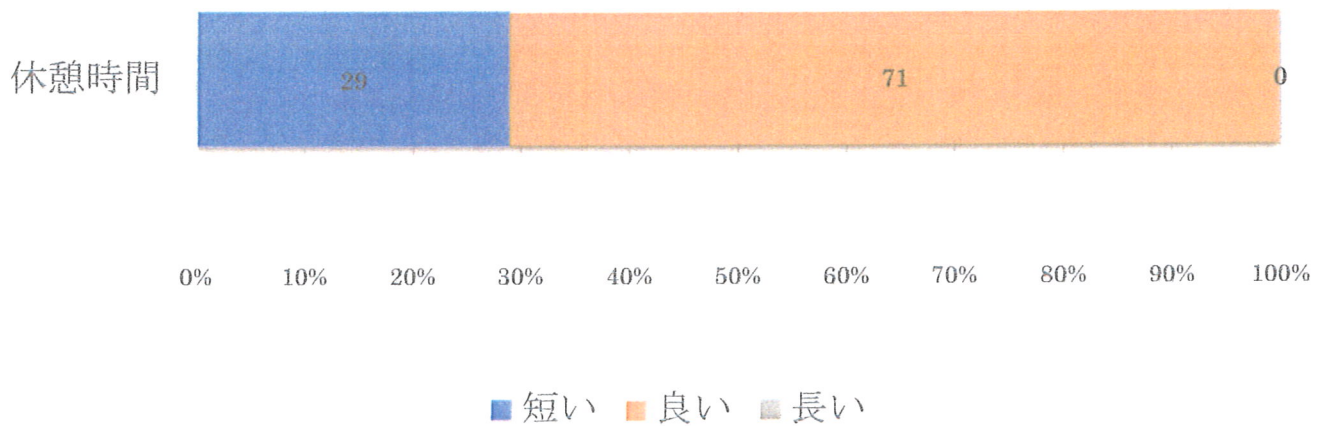
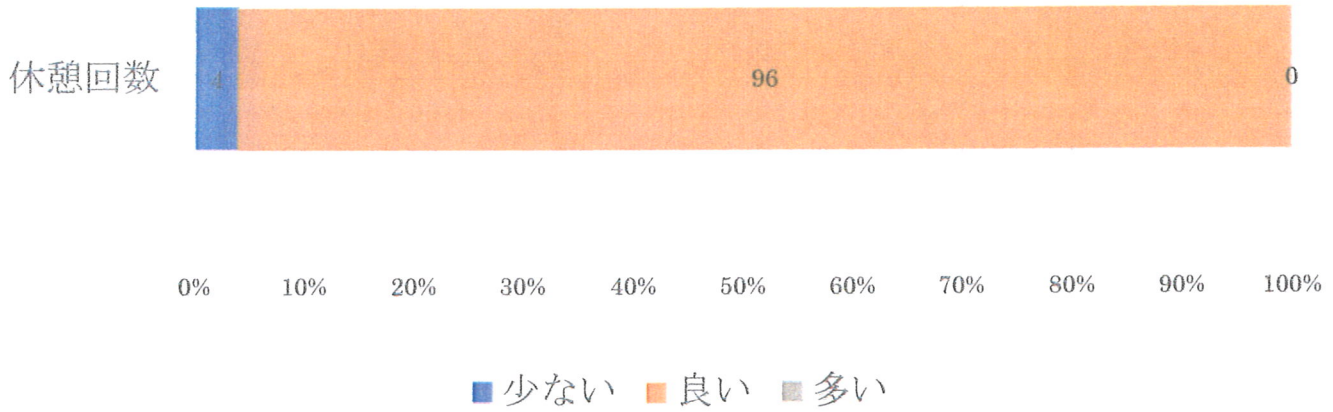
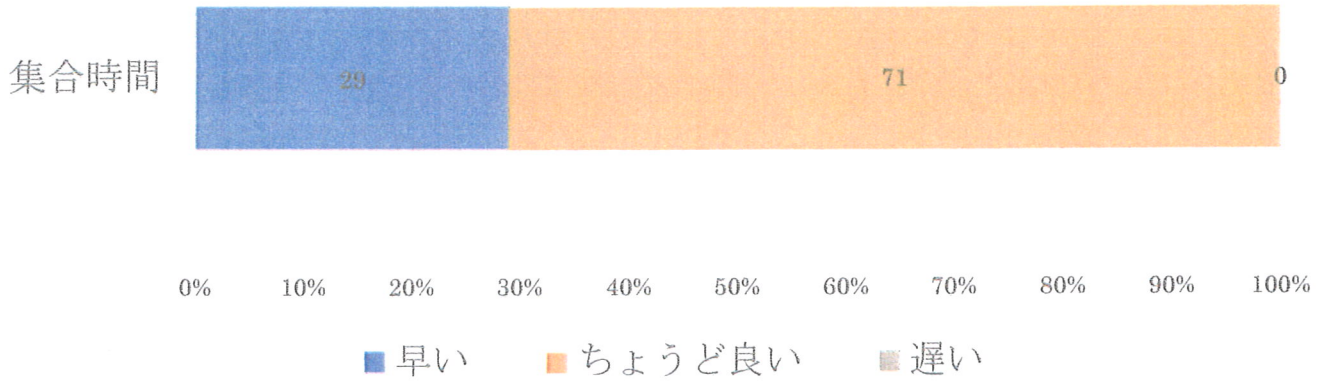
より良い団参を計画していききたいと
思っています。今後の龍正寺団参へ
のご協力よろしく願いたします。

龍正寺

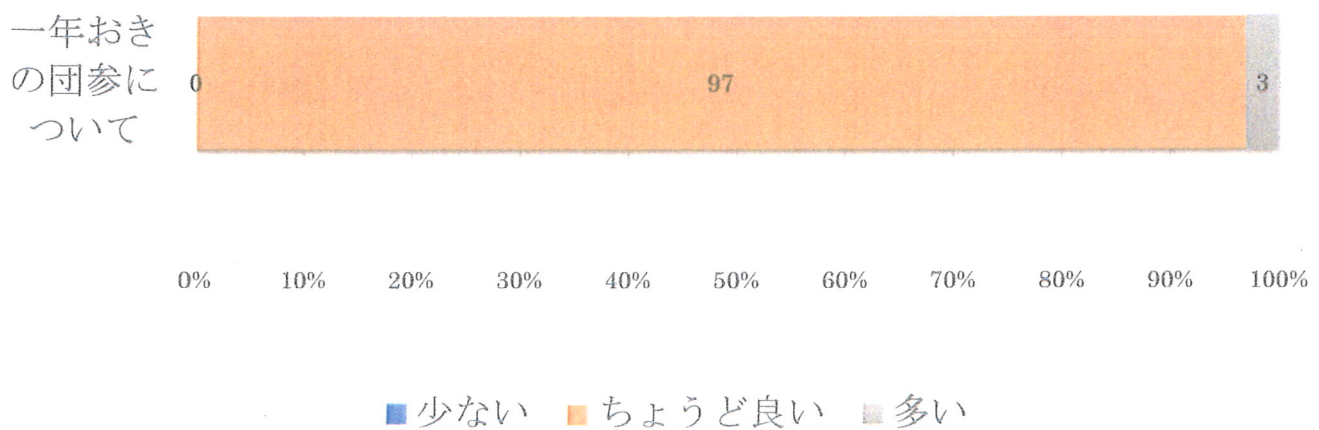
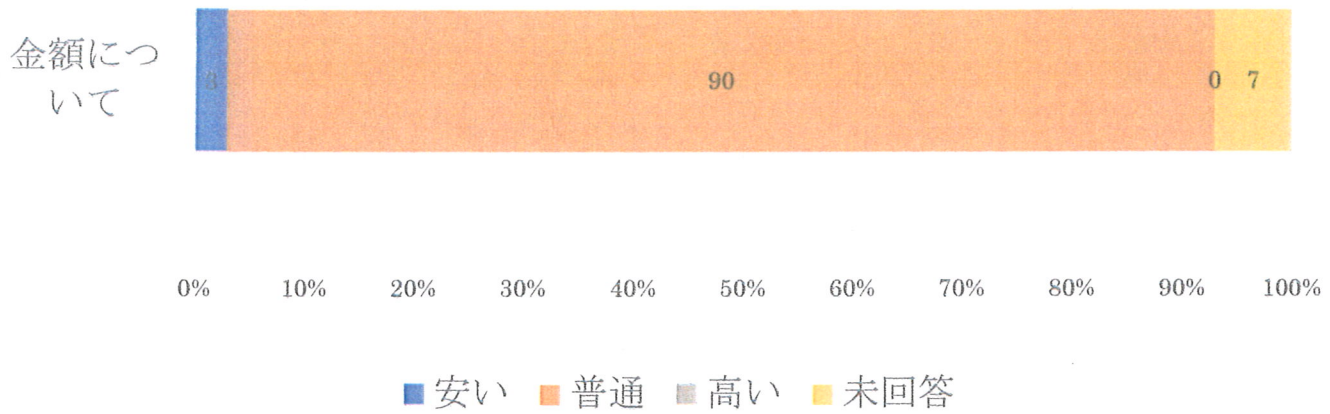
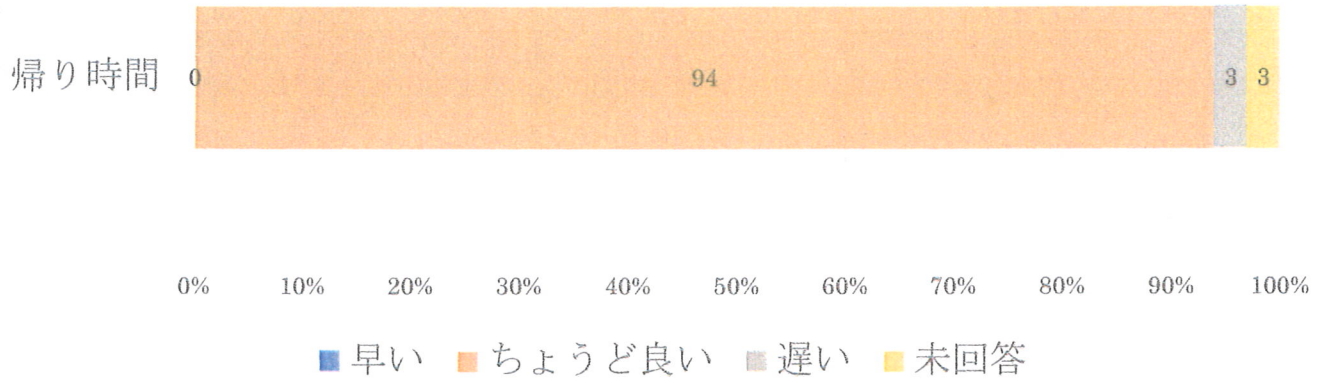
総代一同

護寺会

令和元年度 護法団参アンケート結果



令和元年度 護法団参アンケート結果



< 3月の行事予定 >

3月8日(日) 13:00~ 役員会

13日(金) 10:00~ { 宗祖日蓮大聖人報恩会
鬼子母尊神
七面大明神 } 祈禱会

20日(金) 13:00~ { 大古久尊天祈願会
春季彼岸中日法要会

< 3月住職の予定 >

新型コロナ感染により住職の予定行事は中止になり
寺院の行事のみです。

< 3月の予定 >

3月6日(金)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
13日(金)	法要後	片付け. 準備
14日(土)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
19日(土)		

<お詫び> 年中行事予定表では 春季彼岸中日法要会が
3月21日となっておりましてが 20日の誤りです。
訂正して、お詫び申し上げます。